

コハウチワカエデ

Acer sieboldianum Miq.

ムクロジ目 ムクロジ科 トチノキ亜科 (クロンキスト体系: カエデ科)

ハウチワカエデの変種ではない。特徴は1年枝に毛が多い。ただし、夏を過ぎるとなくなることもある。春の葉はビロードのようであるが、後、洋紙質になる。地域によって普通の木で葉の小型がある。秋は橙色～赤いものまでである。種子から育てるとよいが、接ぎ木、挿し木は高度の技術を要する。

原産地・分布: 日本

***Acer* 属 花産業必修1000属検定 C級**

カエデ属: イロハモミジ、イタヤカエデ



千葉大学大学院園芸学研究科 2024-12-23

Name ID: 6652